

なっぎょん

特集

教育実習の目々

新入生必見！

大学フル活用のおすすめ

ぶらり散策インタビュー

奈良県立図書情報館

〈キラリ☆奈教生〉

女子プロ野球選手誕生！

野々村聡子さん

(教育学部4回生)



奈良教育大学
イメージキャラクター
「なっぎょん」

春

2010

今年(西暦710年(和銅3年))に元明天皇が平城京に遷都して1300年にあたる節目の年であり、様々なイベントやシンポジウムなどが開催されます。また、今年は21世紀に入ってから10年目の区切りの年ですが、国立大学が法人化してから6年を経過した節目の年でもあります。2004年4月1日(平成16年)に全国の国立大学は国立大学法人として生まれ変わりました。本学も、国立大学法人奈良教育大学となり、大学の管理・運営等のシステムも大きく変わりました。法人化した2004年度から今年度までの6年間の教育(及びすべての大学の活動)は、法人化と同時に掲げた目標と計画(第一期中期目標・中期計画)に従って実施されてきました。

法人化以前の奈良教育大学を体験することは出来ません。しかし、この6年間で、教育内容やシステムの研究、地域連携、国際交流などの活動が広がり強化されました。特に、国立大学時代に比べると、学校現場において子どもたちと直接に接しながら学ぶ機会が非常に多くなりました。し、幼稚園の園児や小・中・高等学校の児童・生徒が大学に来て学びや体験をする機会も増えました。また、開設以来2年を経過した教職大学院(大学院教育学研究科専門職学位課程)は教育現場と密接に結びつきながら教員としての実践的力量を高めることをめざしている「教員養成教育の高度化」の一環と位置づけられます。卒業・修了するみなさんは大学にとって激動の6年間の中で学び、研究をしたことになりました。

教員という職業に限らず、大学で得た知識と職業人となった現場で実際に必要な技能にはギャップがあるのが通例です。社会人になったら、できるだけ早くそのギャップを見つけて、どうすればそのギャップを埋めることができるのかを考え、行動してください。人生の経験で役に立たない経験はありません。どのような場面においても必要なことは「学び続ける」ことです。学び続けることの基礎力の一つは教養の広さと深さです。大学で学んだことを基礎として新たな挑戦をしながら学び続けてください。

新入生のみなさんは、大学が新しく成長する6年間(第二期中期目標・中期計画期間)の始まりという節目の年に入学したことになります。大学・大学院での学びは、卒業・修了まで身に付けるべき目標を明確にすることが求められます。みなさんはもっぱら知識を獲得するこれまでの学習から知識を応用・運用することへと進化させることが重要です。新しい学びの中で自分の目標を掲げてコツコツと積み上げてください。楽しく学び続けるための鍵が教養を広め、深めることであることは新入生のみなさんにも強調したいことです。特に、自分の専修や専攻とは一見して直結しない分野の知識・方法などを学ぶことが専門分野の学びに豊かさと多様性を与えてくれることに着目したいと思います。

THE PRESIDENT COLUMN

卒業生・新入生へのメッセージ



長友 恒人
奈良教育大学 学長

3 【学長コラム】

卒業生・新入生へのメッセージ

学長 長友 恒人

4 【特集】教育実習の日々 ～ 附属幼稚園編 ～

教育学部 学校教育教員養成課程 3回生 中村 恵
教育学部 学校教育教員養成課程 3回生 福田 夏希

8 【特集】大学フル活用のススメ

12 教員への確かな学びを支える「教職実践演習」と「履修記録」

学長補佐(教育課程担当) 渋谷 真樹

14 ぶらり散策インタビュー ～奈良県立図書館～

奈良県立図書館 総務・企画グループ 企画・広報担当 乾 聡一郎
教育学部 学校教育教員養成課程 2回生 荻野 まどか

16 【ラボ・レター】

電気・情報の教育を考える

教育実践総合センター 准教授 荻 哲郎

「正解」がないからこそ

国語教育講座 准教授 なかや 中谷 いずみ
教育学部 学校教育教員養成課程 3回生 木戸 啓太

18 【ひと・あれ・これ】

文学の研究を志して

龍谷大学文学部日本語日文学科 特任講師 笹尾 佳代

やってみないとわからない

奈良県立奈良西養護学校 教諭 寺田 みずき

19 【留学生レポート】

未知の国へ

教育学部 学校教育教員養成課程 4回生 松村 智子

日本とトルクメニスタン

日本語日本文化研修留学生 アリシェール・エゲンベルディエフ

20 【キラリ☆奈教生】

日本女子プロ野球機構(女子プロ野球リーグ)兵庫スイングスマイリーズ入団 キャンパスより女子プロ野球選手誕生へ！！

教育学部 学校教育教員養成課程 4回生 野々村 聡子

教育学部 学校教育教員養成課程 2回生 吉岡 佐歩

楽器ふれあいコンサート

活躍する奈良教育大生

22 〈最終回〉大学の仲間たち 拡大号

自然環境教育センター長 前田 喜四雄

24 〈新連載〉奈良に息づく 仲間たち

自然環境教育センター 准教授 鳥居 春己

ならやま 2010年春号

CONTENTS

〈表紙題字〉

名誉教授 池田 桂鳳

表紙紹介

教育実習

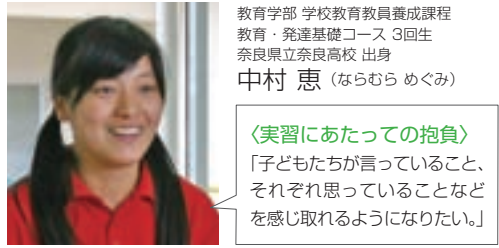
表紙は、大学附属幼稚園で子どもたちを前に、初めての教育実習(部分保育)に挑む実習生です。

子どもたちの注目を一身に浴び、緊張しながらも、笑顔で保育にあたる実習生たち。

子どもたちもいつもと違う雰囲気ワクワクしながら、「先生」の話に耳を傾けていました。

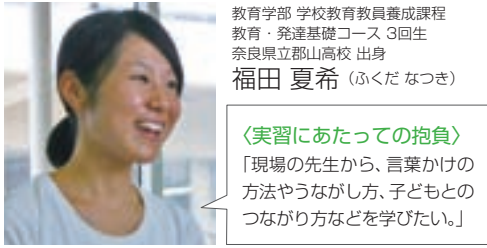
今号の特集(p.4-p.7)は、そんな実習生たちの奮闘を追いました。

企画・広報室



教育学部 学校教育教員養成課程
教育・発達基礎コース 3回生
奈良県立奈良高校 出身
中村 恵 (ならむら めぐみ)

〈実習にあたっての抱負〉
「子どもたちが言っていること、
それぞれ思っていることなど
を感じ取れるようになりたい。」



教育学部 学校教育教員養成課程
教育・発達基礎コース 3回生
奈良県立郡山高校 出身
福田 夏希 (ふくだ なつき)

〈実習にあたっての抱負〉
「現場の先生から、言葉かけの
方法やうながし方、子どもとの
つながり方などを学びたい。」

教育実習 初日



〈実習初日〉初めての顔合わせ。あいさつもどこかぎこちない。



〈実習初日〉遊戯室で開催された誕生日会の後、子どもたちに実習生が紹介された。



〈実習初日〉「好きな遊び」の時間。少しでも多く子どもたちに声をかける。

教育実習生は、年長組、年中組、年少組と、それぞれの担当にわかれ、約1ヶ月の間、実習校で保育実習を行う。
教育実習は、これまでに学生たちが大学で学んできた理論などを実践すると同時に、現場で日々、子どもたちの保育を行っている教諭らから多くのことを学びとる貴重な機会でもある。

緊張と不安に押しつぶされそうになりながらも、なによりも「子どもが好き」という純粋な思いを支えに、実習生たちは教育実習をスタートさせる。
初日から、積極的に子どもたちの輪に入ろうと声をかけている姿が印象的であった。



「1人でも多く子どもたちと話そうと思っていました。指導教諭の保育を拝見していると、叱ることが少ない」と感じました。違うことしている子どもに対して、どういう風に声をかければいいのかわからず、困惑してしまいました。」

〈福田〉

「顔と名前が一致するように、色々な子どもたちと関わりたかったのですが、特定の子どもばかり遊んでしまいました。グループ名を決める際に、提案したグループ名が受け入れられず、すねてしまう子がいましたが、そんな時、こういう風に声をかければいいのかわかりませんでした。」

初日を終えて

〈中村〉



【特集 教育実習の日々：附属幼稚園編】

キーワードは『ねらい』 子どもを思う情熱を胸に、 教職の原点がここにあった。

教員免許状を取得する者が、必ず通らなくてはならない「教育実習」。
本学附属幼稚園でも毎年教育実習がおこなわれる。
実習生たちは、子どもたちを前に、この現場実習で何を思い、何を考え、どのように学ぶのか。
教育実習の現場取材した。
(文・写真 企画・広報室)

教育実習生の一日

16:30	16:00	14:40	14:00	13:45	11:40	10:40	9:20	8:40	8:00
教材研究・保育指導案作成など 子ども一人ひとりをイメージし、毎日遅くまで指導案作成や準備に時間を費やす。	園内清掃 清掃をしながらも、遊具などを観察することで子どもたちがどのような遊びをしているのかを知ることができる。	反省会〈初日オリエンテーション〉 意見交換で客観的な意見を聞くことができる貴重な時間。現場に出れば一人でその日を振り返ることも多くなる。	園児送り出し 迎えの保護者らに1日の保育内容を説明するのも重要な仕事の一つ。保育に家庭との連携は欠かせない。	絵本読み聞かせ 実習期間中は、指導教諭の保育を観察できる貴重な機会。実習生たちは、現場での保育方法をしっかりと学びとっていた。	昼食・「好きな遊び」の時間 子どもたちとの会話もだんだんと増え始めた。	保育室にて保育 工夫を凝らした教材を用意してみるが、子どもたちへ伝え、そして進行することはイメージしている以上に難しく、しっかりとした準備が必要となる。	おはよう体操 毎朝園庭で行われる『おはよう体操』。実習生たちも園児たちを真似しながら参加した。	園児登園・「好きな遊び」の時間 子どもたちの元気な声が園庭いっぱいに広がる。全員の子どもとあいさつをして、その日の子どもの状態を観察する。	登園準備 保育内容を整理したり、遊具や保育室を確認したりなど、子どもたちが登園するまでも気が抜けない。



中村さん2回目の1日保育は、『研究保育』として実習生や教員が見学する中
行われた。



〈教育実習最終日〉子どもたちと別れを惜しむ。

教育実習 3～4週

いよいよ、子どもたちの保育を全て任される『1日保育』を行う。部分保育とは違い、1日という大きなスパンの中で、様々な保育をつなげていかなければならない。実習期間中、2度の機会を与えられる『1日保育』を振り返る。

〈中村〉「どのようにつに保育と保育の間をつなげていけばいいのかわかりませんでした。それに、焦りが出てしまって、特定の子にしか声かけができませんでした。それでも笑顔忘れてはだめだと、どんな時も笑顔でいようと決めていました。時間を気にするあまり、子どもたちを急がせてしまいました。子どもたちが自らほうきを取り出して掃除を始めた時、「あと何分だよ」と言ってくれたりして、気持ちを理解してくれたのには感動しました。」

〈福田〉「初めて1日保育を担当した時は、不安だらけでした。保育のつながりもそうですが、自分の『ねらい』が伝わるのかなという思いが大きかったです。しかし、やること、伝えることを忘れていても、焦らず後で伝えられ

実習生たちは、また大学へ戻りそれぞれが実習を通して経験し、学んだことを振り返りながらさらに卒業に向け研究をすすめることになる。教育実習は、そんな教職の夢を追う学生たちの原点になることだろう。

ばいばい。後でどう挽回できるかの方が大事。との指導教諭のアドバイスに、2度目の1日保育では、たとえ伝え忘れていても落ち着いて伝えればよいと余裕を持ってました。あまり考え込まず、ポイントを押さえて進めていけばいいことがわかりました。」



福田さんは手話も教材に取り入れた

実習を終えて

反省会をすることがすごく良かったです。そこでアドバイスされたことをもとに、毎日「考え」や「目標」などの『ねらい』を持って実習に臨みました。声のかけ方が、最初は自分から子どもに…という方向でしたが、子どもから子どもにつながりができるよう、「○○くんに聞いてみたら？」という具合に声をかけることができるようになりました。だんだんと話を聞いてくれるようになったことで、信頼関係が築けたのかと思います。大学に戻ってからは、絵本が好きなので、絵本と言葉の発達の間を研究していきたいです。(福田)



実習を始めた当初は、子どもたちをただ5歳児ということだけで想定せず、「こんな風に進めれば大丈夫」などと考えていました。しかし、それではうまくいかず、同じ5歳児でも一人ひとり違う性格で、対応についても子どもによってやり方が違うことに気がきました。「この子はこういう子」とわかってくるにつれて、保育指導案を作成する時に、一人ひとりの顔を浮かべながら考えることができるようになりました。また、それぞれの子どもに応じた保育の『ねらい』を持って接していかなければならないなと実感しました。(中村)

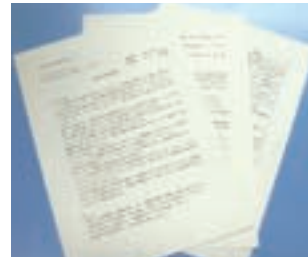
教育実習 1～2週



園庭での保育では、実習生の大きな声が響いていた。



〈部分保育〉時に小さな声の方が子どもの関心をひくことを学び、実習生たちは実践していた。



〈保育指導案〉その日の保育内容が細かく書かれている。

〈中村〉「絵本読みは十分に練習して臨んだつもりでしたが、頭が真っ白になりました。園庭に移動して保育を進める際など、どこに集まるのかまで指示していなくて、子どもたちを混乱させてしまいました。保育をどう進めるのかイメージして保育指導案を作成していましたが、子どもたちがどう動くかまでイメージできていませんでした。それに30人全体を見なければならぬのに、園庭で走りまわってケガをしている子がいっても気付かないなど、視野の狭さも痛感させられました。それでも、子どもたちが予想していた以上の反応をみせてくれることもあってうれしかったです。」

実習生たちが保育をしてみて感じたのは、設定保育の準備や練習をする際に、子どもたち一人ひとりの動きをまだまだイメージしきれていなかったことだった。それをイメージするために、日頃から子どもたちの観察が重要になることを再認識させられたようだった。

保育指導案
実習生たちが、保育を担当するときには作成する保育指導案。この中に、その日の保育の「ねらい」や日常の子どもの様子(姿)、そして教材の進行方法などが、細かく書かれている。

はじめは多くの実習生が作成に苦労したと明かす。しかし実習を終えると、保育の意味、その日の「ねらい」を明確にするために、保育指導案はとても大事だったと全員が口をそろえる。

自分の良さを生かした保育を



奈良教育大学附属幼稚園
副園長
上野由利子

実習中期には、実習生たちも、絵本の読み聞かせやクラス全体の活動など、一部分の保育はできるようになってきます。

しかし、1日保育となるとそれぞれの活動をつなげなくてはならないので、どうしても子どもの気持ちが途切れてしまって苦労します。また、子ども一人ひとりの思いを大切にすることと、先生の思いを子どもに伝えることのバランスに難しさを感じたと思います。しかし、日々振り返り反省していく中で、自分の良さを生かした保育の仕方、表現の仕方を身につけてほしいと思います。

保育には「ねらい」を持って欲しい



奈良教育大学附属幼稚園
指導教諭
長谷川かおり

保育をする上では、子どもに何を体験させたいのか、こういった部分を伸ばして欲しいのか、どう感じてほしいのかなど、常に「ねらい」を持つことが大事です。全体のねらいと個人のねらいをしっかりと持っていないと動けません。

そのためには、子どもたちに寄り添って、日々成長している子どもたちの姿を確にとらえることが大切です。「ねらい」があることで、伝えなければならないこともしっかりと伝えられますし、想定外のことがあっても対応できます。子どもは言葉以上に表情を見ているので、その時の状況に応じて表情を変えることも必要です。今後は、自分の個性も大事にしながら、保育者にとって必要とされる資質を磨いてほしいと思います。

反省会



実習生たちは、毎日の終わりに指導教諭を交え「反省会」を行う。

この反省会では、実習生たちが、その日にどういう「ねらい」をもって取組んでいたか、そしてどんな発見をしたかなどを振り返り、疑問点などについて指導教諭からアドバイスをもらう。

この日々の振り返りと反省が、明日以降の取組みに反映され、より有意義な実習になっていく。

教育の歴史を振り返るなら

学術情報研究センター教育資料館

教育資料館は、明治41年建築の陸軍の糧秣庫を改修した建物です。我が国の学制発足における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料を収集・整理・展示保管し、広く教育研究に資することを目的として、平成4年に設置されました。

館内は三つの展示室に分かれ、本学教育の変遷や奈良県教育史年表のパネルの掲示や、学制発足以降における奈良県下で使用された教科書等の展示をしています。本学教員の絵画や彫刻、書などの美術品も展示しています。また、DVDミニシアター「世界遺産」の鑑賞もできます。ぜひご来館ください。

お問い合わせ
0742127-9135
(学術情報課学術・研究担当)



教育資料館スタッフ
川田 千秋



パソコンやインターネットを利用するなら

学術情報研究センター情報館



情報館 学生スタッフ
小笹 花倫



情報館 学生スタッフ
古橋 裕悟

館内の3教室、3ヶ所の情報サテライトなどに、233台の共同利用パソコンとプリンタステーションが設置されており、自由に利用することができます。

共同利用パソコンは、レポートの作成や画像・動画の編集など、さまざまな用途に利用することができます。また、場所が変わっても同じ環境が引き継がれるため、場所を選ばずに作業の続きをすることができます。

情報館では、電子メールやeラーニングなど、キャンパスネットワークを通じてさまざまなサービスを提供していますので、積極的に活用してください。

お問い合わせ
0742127-9703

将来の進路を考え始めたら

就職支援室 キャリアサロン

学生支援課の奥にキャリアサロンがあります。ここには就職に関する資料があり、就職関係の参考書・図書・各種資料の閲覧貸出等ができます。無料のコピー機、インターネットにつながるパソコン等の設置、「ワンドリンクサービス」を実施していますので、就職情報の収集にご利用ください。

また、毎週火曜日・木曜日は教員希望者向け相談員、水曜日は企業希望者向け相談員が相談に応じていますので、ぜひご利用ください(いずれも13時から17時、相談員の来校日は変則になる場合がありますので事前に確認してください)。

お問い合わせ
0742127-9129
(学生支援課就職担当)



就職相談員
北谷 勲



ボランティア活動を始めたら

ボランティア支援総合センター



ボランティア支援総合センター
スタッフ
高良 綾子

「ボランティア」という言葉を一度は耳にしたことがあると思います。ここでは、学校教育や地域貢献、福祉等、さまざまな分野のボランティアを紹介するとともに、「菜の花プロジェクト」「エコキヤップ運動」等、センター独自のボランティア活動も行っています。

「何かボランティアをしたい」と思ったら、迷わず来てくださいます。専門のコーディネーターが相談に乗ります。また、検索用パソコン、ボランティア関連図書もあるので、お気軽にお越しください。

〈開館日 平日 10時半～17時〉
お問い合わせ
0742127-9366

大学フル活用のススメ

奈良教育大学には、講義を行う施設だけでなく、有意義なキャンパスライフをサポートするための施設、設備があります。

さあ、あなたも奈良教育大学を上手にフル活用してみましょう！

論文・レポートの資料集めをするなら

学術情報研究センター図書館



学術情報課
係長(情報サービス)
赤澤 久弥

教育に関するものを中心に、あらゆるジャンルの学術・教養図書が約32万冊揃っています。論文やレポートの資料を集めたり探したりする際に、スタッフのサポートを受けることができます。また、館内のデスクで自習することができ、パソコンルームやプリンタも設置されており、その場でレポートを作成することもできます。

その他にも、絵本を集めた『絵本のひろば』を併設し、毎週水曜日には一般開放しています。

図書館は一般の方も利用できます。緑に囲まれたこの知識の泉を、ぜひ活用してください。

お問い合わせ
0742127-9137

留学を希望、または留学生と話したいのなら

国際交流室

国際交流室は新館2号棟の一階にあり、留学生と日本人学生の交流スペースとして活用されています。室内には、留学生用に日本語学習教材や辞書、問題集、DVD、共同利用パソコン数台が揃っていて、一日中自由に勉強することができます。また、留学生とチューターとの交流もこの部屋で行われています。両隣は留学生担当教員の部屋というところもあって、本学の留学生が集まる場所になっています。海外交流協定大学の情報も置いてありますので、留学を希望する日本人学生の皆さんや、留学生と話したい人は気軽に立ち寄ってみてください。

お問い合わせ
074212719148
(学生支援課留学生担当)



学生支援課留学生担当
船津 真砂子



体調不良を感じたり、悩みを相談したいなら

保健管理センター



保健管理センター所長
辻井啓之

保健管理センターは、学生・教職員の皆さんの健康管理を行っている施設です。健康診断を行い、教育実習や介護等体験実習などで必要な健康診断証明書を発行します。また、体調不良や、けがの場合の応急処置を行い、精神的な不調にも対応します。スタッフは、医師である所長と看護師が2名です。3名の学外カウンセラーが週に3回3時間ずつカウンセリングを行っています。自由診療を行う診療所としての届け出がしており、予算は大学がまかなっているため、医療行為やカウンセリングはすべて無料です。気軽に訪れください。

お問い合わせ
074212719138

自然教育や野外活動を行うのなら

自然環境教育センター

自然環境教育センターの施設には、奈良実習園と奥吉野実習林があり、主に自然教育や野外活動に利用されています。奈良実習園は大学の南約1kmに位置し、園内には実習室やガラス温室などがあり、フィードバック等で利用されるほか、栽培実習でトウモロコシ、サツマイモなどを生産しています。奥吉野実習林は奈良県五條市にあり、原生林などからなる山林のほか、麓には山小屋のロッジをイメージした教育研究棟と、一度に34人が泊まれる宿泊施設があります。宿泊施設は各種研修などに利用できますので、ぜひご利用ください。

お問い合わせ
074212719112
(会計課総務・決算担当)



奈良実習園



奈良実習園スタッフ
磯田 治



奥吉野実習林

教材用メディアを制作するなら

教育実践総合センター



メディアルーム



教材制作用
編集機器



教育実践総合センター
池田 江里

教育実践総合センターでは、授業や研究会などで使用する多目的のホールや会議室のほか、メディアルーム、図書室、教材用印刷室などの利用ができます。メディアルームは、学術情報研究センター情報館のサテライトとしてパソコンが設置されており、その場でレポートを作成することができます。また、教材用メディアとしてのビデオやDVDを編集する機器が設置されています。図書室には、教育実践、メディア教育、教育実習などに関する専門書や、教育実践総合センター研究紀要が揃っています。ぜひ活用してください。

お問い合わせ
074212719288

学生間の交流、教職員との親睦を深めるなら

学生会館

学生会館は、学生相互の交流や学生と教職員との親睦を深め、学生生活をより充実させるために設けられたもので、課外活動の中心的な役割を果たしています。館内には、学生自治会などの部屋が入るほか、集会所や和室などもあり、各種課外活動団体の活動場所となっています。一階には、学生たちの交流スペースとして談話室が設けられており、昼食時や授業の空き時間などに利用できます。また、他にもボランティア支援総合センターや、各種イベント等で使用可能な山田ホールがあり、芸術系作品の展示会などに広く利用されています。

お問い合わせ
074212719130
(学生支援課学生担当)



学生会館スタッフ
本谷 哲也



少しお腹が空いたらなら

なつきん食堂

食堂のメニューは栄養のバランス・安全性を考え、「食べる楽しさ」を低価格で実現できるよう工夫されています。サラダバー、おばんざい、主食、副食、補食、丼、カレー、麺、デザート、おでん、雑炊などを提供しており、メニュー数も豊富。学生さんの要望で実現した讃岐うどん、釜玉うどんなどもあります。どんなリクエストしてくださいます。

さらに、季節に応じた企画も実施。カレーフェア、そうめん取り放題、ケーキフェア、熱々大鍋フェア、みちのくフェア、北海道フェアなどを開催しています。また、購買部や書籍部を併設しており、なつきんのキャラクターグッズなども販売しています。

お問い合わせ
074212611406



奈良教育大学生協同組合
専務理事
山下 正純



大学の取り組み

「カリキュラム・フレームワーク」によって、
「履修記録」を構築し、
「カリキュラム・フレームワーク」に
基づく本学独自の「履修記録」
その上で、本学では、この「カリキュラム・
フレームワーク」を活用しながら、「履修記録」
を作成しています。これは、大学側が学生の
履修状況や修得具合を把握するものであると
同時に、個々の学生が教職の学びを確認する
ためのものです。文部科学省の例示では「履
修カルテ」と呼ばれているものですが、本学

ための枠組み、すなわち、「カリキュラム・フ
レームワーク（通称 カフェット：Curriculum
Framework for Expert Teachers）」を構築し
ました。
「カリキュラム・フレームワーク」によって、
本学で展開されているそれぞれの授業科目は、
7つの目標資質能力基準と対応した科目であ
ることが明らかになります。そうすれば、学
生にとっては、学びの目標や道筋がわかりや
すく、各授業の目的を意識しながら、主体的
に学ぶことができるようになるでしょう。ま
た、授業を担当する教員にとっても、大学全
体の教育課程の中に自分の授業を位置付け、
それぞれの授業のねらいを自覚した上で授業
に取り組むことができるのです。

では、病歴をイメージしがちな「カルテ」で
はなく、よりわかりやすく「履修記録」とし
ました。
この「履修記録」を使って、学生は、学期
ごとに7つの資質能力目標に沿った自己評価
を行うこととなります。学生の皆さんは、定
期的かつ体系的に自己評価を繰り返すこと
により、自らの教職への成長度合いを確認し、
主体的に学ぶことができます。
また、大学教員は、とりわけ「教職実践演習」
での指導に当たって、個々の学生のそれまで
の教育課程での学びや修得状況を確認するこ
とができます。「教職実践演習」は、卒業を
前にして唐突に教職の学びを完結しようとす
るものではなく、1回生からの着実な学びの
積み重ねを踏まえた上での総まとめです。「履
修記録」は、そうした授業をしっかりと支え
てくれるはずです。
この「履修記録」は、本学の「学務情報シ
ステム」（履修登録入力、成績確認及び就職に
関する情報検索などを可能にするWebシス
テム）から入力・検索が可能です。
このように、本学は、十分な資質能力を備
えた教員への道をより確実にしていくために、
今後も教育課程の開発と改善に努め、よりよ
い学習環境づくりを目指していきます。

大学の取り組み

教員への確かな学びを支える 「教職実践演習」と「履修記録」

学長補佐（教育課程担当） 渋谷 真樹



教員になるための

新たな必修科目…「教職実践演習」

平成22年度から、教育職員免許法施行規則
の一部改正によって、平成22年度以降入学の
教員免許状を取得しようとする学生には、「教
職実践演習」という新たな教職科目の履修が
義務づけられました。「教職実践演習」は、教
員として必要な知識や技能の修得を確認する
ことを目的としています。

本学では、この科目は4回生の後期に開講
（2単位）され、それまでの履修状況を振り返
り、教壇に立つに十分な資質能力がついてい
るかどうかを確認するとともに、不足してい
る知識や技能を補っていきます。学校教育教
員養成課程の学生にとっては、卒業要件の必
修科目ですし、総合教育課程の学生にとつて
も、教員免許状を取得する場合には、卒業要
件以外に履修が必要な授業科目となります。
授業では、模擬授業をして教育実践力を確

かめたり、グループ討論などにより教職に対
する意識や知識を見極めたりします。そして、
必要に応じて不足を補い、教職課程の総まと
めをしていくのです。

では、4年間の教職課程の学びはどのよう
に振り返り、教員として必要な知識や技能を
いかに確認していくのでしょうか。この振り
返りや確認のために、本学では、新任教員に
求められる資質能力を定め、それに基づいて
履修履歴を把握できるシステムを用意して、
適切に学生指導を行う体制を整えています。
以下で、そのことを説明していきます。

新任教員に求められる目標資質能力と 「カリキュラム・フレームワーク」

まず、本学では、新任教員に求められる7つ
の目標資質能力基準（別表参照）を定めました。
そして、この目標資質能力基準をもとにして、
バランス良く系統だった教育課程を編成する

別表：奈良教育大学カリキュラム・フレームワーク「7つの目標資質能力基準」

① 学校教育の課題把握

教育の目的・歴史、人権、さらには教育や学校に関する法令など
を理解し、現代的な教育課題を把握できる。

② 教科・領域に関する基礎的知識と教育実践への具体化

小学校、中学校の教科内容とその系統性を理解し、教育実践に活
用することができる。

③ 情報活用能力

主な情報機器を利用し、獲得した情報を教育活動に具体化できる。

④ 授業力

4-1 学習設計

学習指導計画立案に関する基本的事項を理解し、児童・生徒の
発達段階に応じて作成することができる。

4-2 学習指導

多様な指導方法を理解し、児童・生徒の発達段階に応じた指導

をすることができる。

4-3 学習評価

多様な評価方法を理解し、児童・生徒の発達段階に応じて用い
ることができる。

⑤ 児童・生徒理解と教育実践への具体化

児童・生徒の身体的・認知的・情意的発育・発達に関する基礎的
内容を理解し、教育実践に具体化できる。

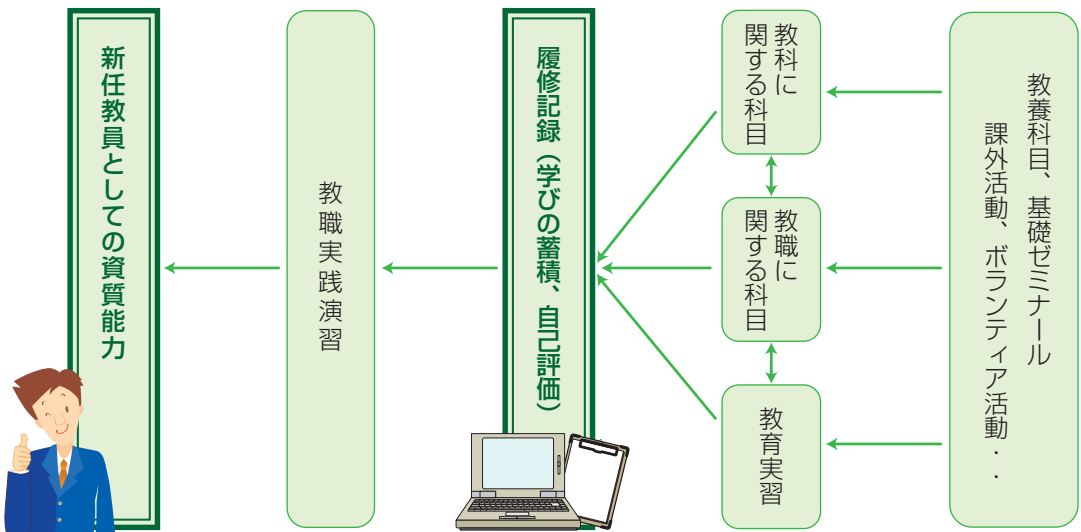
⑥ 学校と地域社会との連携

学校の組織的な教育活動や経営活動、地域の教育活動などに関わ
ることの重要性を理解し、教育活動に生かすことができる。

⑦ 職能成長

教師の仕事や役割、責任を自覚した上で、教師として自己成長す
る意味とその方法を理解し、自ら実践することができる。

教職実践演習における 学びのイメージ



ぶらり散策 インタビュー

奈良県立図書情報館

奈良市大安寺1丁目1000番地 TEL:0742-34-2111(代表)

- JR奈良駅から奈良交通バス22系統(県立図書情報館行き)乗車 終点下車すぐ
- 近鉄新大宮駅からエヌシーバス8系統(四条大路南町行き)乗車 県立図書情報館西口下車 徒歩約3分



昨年9月、本学と相互協力に関する協定を結んだ『奈良県立図書情報館』。この協定締結により、双方の蔵書の相互貸し借りが可能になりました。

単に図書の貸し出し業務にとどまることなく、奈良県や県民に関する企画などを展開する奈良県立図書情報館で話を聞きました。

―館内はすぐ明くて斬新ですが、いつ頃設立されたのですか。

もともと奈良県文化会館内にあった県立奈良図書館と、橿原公苑内にあった県立橿原図書館を統合して、2005年11月にここに設置されたので、今年で5年目になります。

―地域と連携した講座が多く開かれています。今後はどのようなものを予定されていますか。

千田総館長の公開講座を年に六回行っているほか、寄席を開いたりもしています。パソコン教室も月に一回ほど入門教室を開いています。その他には、「自分の仕事を考える3日間」と題したフォーラムを開いています。

また、メインエントランスではクラシックコンサートなどを開くこともあるんですよ。チェロや弦楽四重奏、ソプラノ、さらに民族音楽のコンサートを開催したりもしました。



広々として落ち着いた雰囲気の内。



気軽に図書の検索や相談にも応じてくれる。



インテリアにも快適さへの配慮が感じられる。

す。現在は約55万冊の蔵書を備えています。

―図書情報館では、一日にどれくらいの利用者数があるのですか。

約1,800人の方に利用していただいています。実は、一番利用が多いのが20歳代と30歳代の方です。設立当初から、社会の第一線で活躍されている方に多く利用してもらえようという「大人の図書館」を：との構想も一つあったので、その構想に沿った形で進んできているのかな、と感じています。また、パソコンが使える環境が整っているのも、WEBメールを利用する外国の方も多いようです。

―パソコンが設置された机でレポートを作成されている方や、持ち込んだパソコンを使っている利用者の方も多く見受けられますね。

社会的にインターネットの活用が増えてきていることもあり、活字メディアとWEB情報を一緒に利用いただけるよう、約410席ほどの閲覧席の約半数では、端末席や持ち込みパソコンが接続できるようになっています。それらを利用して、学生さんや社会人の方がレポートを作成されていることも多いですね。

これまでの図書館だと、パソコン端末と言えはインターネット利用が多かったと思いますが、当館にはCD-RやUSBメモリなどのメディアを持ち込んで使っていたこともできまので、活用の幅は広いと思います。

新たなニーズ・出会いを提案していく図書館に

―寄席やクラシックコンサートなどは、個人的に行くには少し敷居が高いように感じるので、それらが身近な図書館で開かれているというのは、すごく魅力的ですね。

そうですね。当館のような公共図書館は、特に目的がなくても足を運べる…というのが一つの良さでもあると考えています。

実は、ここでも月一回「医療健康相談」というのもやっています。近くの病院の院長先生に来ていただき、相談に応じてもらっています。もちろん診療行為ではないので、白衣は着ておられません(笑)。ちょっと聞きたかったことを抵抗なく相談してもらったことが出来ます。それから「仕事相談」も開いています。ハローワークに行くとなると大袈裟になってしましますよね。図書館に来て、相談会をやっているから少し聞いてみよう、というような気軽な形で利用してもらっています。

今までのように、公共図書館にやってくる人々のニーズに応えるだけでなく、利用者を触発し「新たなニーズを開拓していく」「新たな出会いを提案していく」というのが、当館の一つの大きな特徴だと思っています。それを実現していくと、今までの図書や情報が詰まっている図書館

館内のスタジオで撮影からアフレコまで

―その他にも、スタジオやメディア編集ができる設備などがあると聞いたのですが。

はい。当館には、オーサリンググループやアトリエ、デジタルスタジオといった、撮影や画像・動画の編集ができる設備が揃っています。たとえば、奈良に観光に来られた方が、旅先で撮影した写真や動画などをここで編集して、すぐにブログにアップしたりすることもできます。

実は、奈良出身の映画作家である河瀬直美さんの作品の一部も、このスタジオでアフターレコーディング(アフレコ)を行ったんですよ。

可能性を求める姿勢を評価された受賞

―このたび「Library of the Year 2009 優秀賞」を受賞されたということですが、どのようなところが評価された賞なのでしょう。

この賞は、NPO法人「知的資源イニシアティブ」がこれからの図書館のあり方を示唆するような先進的な活動を行っている機関に対して授与しているものです。当館がこれまでにさまざまな企画やイベントを展開して、今までの図書館の活動を生かしながら、図書館の新しい可能性を求めていることに対して、評価をいただいたのだと思っています。

から、新たな可能性を持つものに広がっていくと考えています。

大学では出会えない本や情報に触れてほしい

―なるほど、利用者にとってもより活用の幅が広がってきますね。本学とは連携協定が昨年結ばれましたが、学生にはどのような利用を期待されていますか。

図書情報館を大いに利用していただくことはもちろんのことですが、大学では出会えない種類の書籍や情報に触れていただければと思います。それに、デジタルスタジオなどをはじめとしたさまざまな施設があるので、そういう部分も大いに利用して欲しいですね。

―本日はお忙しい中、ありがとうございました。



協定締結の様子(千田総館長と佐野誠学術情報研究センター長)

電気・情報の教育を考える

教育実践総合センター 准教授

数 哲郎



電気工学と情報工学

携帯電話、コンピュータ、さまざまな家電製品など、私たちの生活は電気工学と情報工学の上に成り立っています。さらに、最近「エコ」がブームになっています。化石燃料を使わずに生活するには、電気エネルギーが必要です。電気・情報の学問分野は、今後も重要な存在であり続けることでしょう。私は2009年4月に奈良教育大学に赴任し、電気・情報に関する講義や演習を担当しながら、それらの教育に関する研究をしています。

教科書・教材の作成

電気工学の分野において、電気回路の理論は大変重要です。書店に行くと多数の電気回路の本が売られていますが、これらの本は二極分化しています。一つは工学部の電気工学科で使う難解な教科書で、実用にはあまり使われない理論も含まれています。もう一つはホビーとして電気工作を楽しむ人向けの易しい本で、数学的

な説明が最小限に抑えられているため不十分な面もあります。私は「実用的なことに的を絞り、かつ数学を用いた説明もなされている教科書」を作成しています。完成した部分から講義で使用する予定です。

コンピュータは、使い方を覚えるだけでも大変な道具ですが、その仕組みを知った上で使うと、より能率的に使うことができます。私はコンピュータの操作法をマスターした次の段階として、その背後で動作している仕組みを理解する教育が必要であると考えています。そのために、「学習用に作成した小さなソフトウェアを操作して理解する」という、新しいタイプの教材を開発しました。講義で使用し、Webでも公開しています。今後はインターネットの理解に関する分野の内容を、さらに充実させていきたいと考えています。

電気工作

最近、電気工作をする人が増えているようです。「エレキジャック」や「電子工作マガジン」などの電気工作の雑誌が創刊され、多数の新刊書籍があります。一つの要因は、2000年頃からP I C（マイコンの一種）をはじめとした数百円のマイコンが使えるようになり、楽しいことがいろいろとできるようになったからだと思われる。さらに、2007年頃から「フィジカル・コンピューティング」という新しい

学生と共に

もちろん、多くの大人はそのことを知っています。しかし、それが児童や生徒に伝わっているかと言えは、必ずしもそうとは言えません。そんな中、「正解」がない国語は、「さまざまな思いや考えがあつていい」ということが学べる教科として存在しているのではないのでしょうか。

本研究室では、このような考えのもとに、学生自身による学びとディスカッションに重きを置いています。「正解」がないからこそ、必死で考え、伝え合い、話し合う。こうした経験を積むことで、違いを理解し自らの視野を広げていく力を身に付けると同時に、児童・生徒にもそのような機会を与えることのできる教員になって欲しいと思っています。もちろん、私自身も学生とのディスカッションからたくさんの刺激と学びをもらいつつ、国語科教育のあり方について、学生と共に日々研究を進めています。



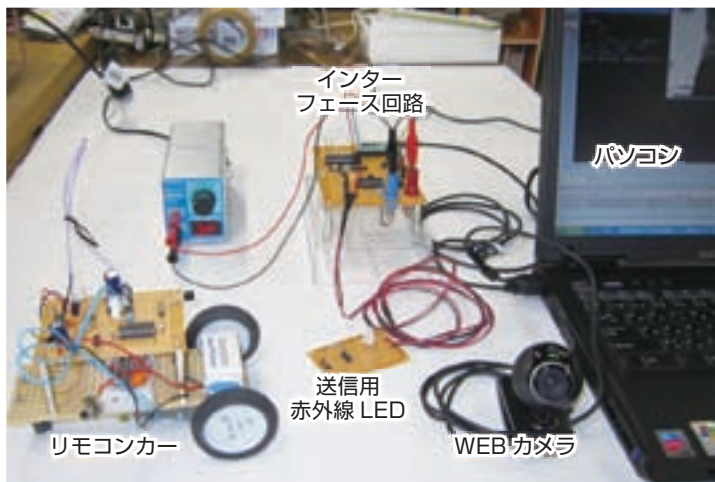
ゼミの風景

概念が提唱されています。フィジカル・コンピューティングは、パソコンにセンサやモータ、LEDなどを簡単に接続して、電気工作の可能性を大きく広げるシステムです。

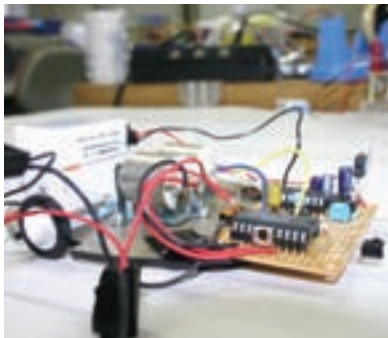
私はこれらの新しい電気工作の可能性を追求し、製作記事や回路図などをWebで発信していると考えています。

私が作成した教材やテキストは以下のURLで公開しています。

<http://denkinara-edu.ac.jp/~yabu/>



試作したリモコンカーとその制御システム（Webカメラで撮影した画像をパソコンで処理して位置を検出し、赤外線で操縦して目的地に到達します）



学生からのメッセージ



教育学部
学校教育教員養成課程
言語社会コース 3年生
木戸 啓太
（長崎県立長崎東高校出身）

研究室について

今年度から、奈良教育大学・国語教育講座に中谷いずみ先生のゼミが新たに登場しました。中谷先生の専門分野は、国語科教育学から日本近代文学へと幅が広く、さまざまなことを指導していただけます。

この研究室では週に一度勉強会を行っており、そこで自分の研究を進めることができます。希望する研究テーマは自分で選択することができ、中谷先生に意見やアドバイスをいただきながら、研究をしていくことができます。勉強会では、自分が調べたことを発表し、そのことについてディスカッションを行います。このディスカッションで、新たな疑問が出てきたり、わからなかったことがあったりした時はそれらを解決し

中谷いずみ先生について

ていき、研究を進めています。そこでは、研究で役に立つ考え方を丁寧に教えていただけるので、自分の研究以外でも、教育実践で役に立つようなことまで学ぶことができます。

ここで中谷先生について知らない方もいると思うので、少し説明したいと思います。お菓子が好き（特にチョコレートが好き）で、寝ることが好き（どこでも寝ることができそうです）。コーヒーは基本的にブラック（研究室に砂糖とミルクはありません）で、車の運転は苦手（とてもスリリングです）。これだけ知っていただければ、中谷先生と楽しく話すことができます。また、くだらない話から深い話まで、どんなことでも親身になって聞いてくださるので、本当に安心できる良い先生だと私は思います。ぜひ一度、中谷研究室までお越しください。おいしいコーヒーを入れてお待ちしております。

「正解」がないからこそ

国語教育講座 准教授
なかや
中谷いずみ



「正解」のない教科

「国語は正解がないから難しい」という言葉をよく耳にします。確かに、物語文を読んでいると、Aとも読めるしBとも読める、という場面に出会うことがあります。また、書くことや聞くこと、話すことにしても、これが「正解」という絶対的なものがあるわけではありません。では、「正解」のない教科で一体何を教えればよいのでしょうか。

さまざまな視点の存在

私たちは毎日の暮らしの中で、さまざまな物事や場面に出会い、その都度いろいろなことを感じ考えます。しかし、同じ場所でも同じ経験をしたとしても、その全員が同じ受け止め方をするわけではありません。それぞれの思いや考えには、それを支える個性や背景があり、決して「正解」か否かで判断されるべきものではありません。そもそも、日々の暮らしの中で、確固たる「正解」が存在する物事なんて、どれくらいあるのでしょうか。

文学の研究を志して



龍谷大学文学部
日本語日本文学科 特任講師
笹尾 佳代
平成14年3月 教育学部卒業
平成16年3月 大学院修了

長い学生生活を終えて：

私は今、龍谷大学で文学部日本文語日本文学科の講師をしています。奈良教育大学で大学院修士課程まで学んだ後、同志社大学大学院で博士課程を修了して現在の職に就きました。担当しているのは、日本近代文学に関する授業です。樋口一葉をはじめとした女性作家の作品や、文学作品に描かれた女性像などについての研究をしています。

よく学び、よく遊ぶ

奈良教育大学での日常を振り返ると、この言葉が浮かんできます。所属していた国語科の授業や、近代文学のゼミで専門的なことを学ぶうちに、「何を知らないのかを知る」ことができました。知識不足はもちろんです。が、「考えてこなかったこと」や「触れてこなかったこと」の存在に気づき、焦りのような気持ちを覚



大学イベントで小説家にインタビュー

えました。ともかく実際に感じてみたいという思いから、美術館や映画館に出かけたり、いろいろな土地を旅したりしました。導いてくださった先生方や、とても良い友人たちとの出会いは、何よりの幸運だったと思います。この頃の体験は今の私の基礎となっています。

広がりの中で

大学の教壇に立つようになって、プレッシャーを感じることもあります。大勢の学生と共に文学について考えることに喜びを覚えます。昨夏には、大学のイベントで、小説家にインタビューをするという機会にも恵まれました。これまでとは違う角度から文学を捉えることを、興味深く感じています。これからも、精一杯の努力を続けていきたいと思っています。

ひと・あれ・これ

やってみたいとわからない



奈良県立奈良西養護学校 教諭
寺田 みずき
平成19年3月 教育学部卒業

仕事Ⅱ好きなこと

奈良県の教員として採用され、もうすぐ2年が経とうとしています。私は特別支援学校で、知的障害を持つ子どもたちと楽しい毎日を送っています。夏休みや冬休みになると、子どもに会えないことがつまらなく思えてしまうほど、私は子どもと過ごしている時間が大好きです。

大学時代の友達には、教師をしている人も多くいます。彼らとお互いの仕事の話をしていると、私自身が「好きなことを仕事にできているのかも知れない」と思われることがよくありました。教師を目指して採用試験の勉強をしていた時は、「好きなことを仕事にしたい」という思いはほとんどなくて、それよりもただ「教師になりたい」という一心だけだったと思います。いざ採用されてからも、とにかく自分のできることを全力でしよう、と、必死で目の前のことに立ち向かっているだけでした。



授業風景「くまさんにりんごを食べさせてあげてね」

そんな自分を、「好きなことを仕事にできているのかも知れない」と思うことができたのは、友達と話をする中で、客観的に今の「働く自分」を見つめることができたからだと思っています。そして、この仕事を実際にやってみて、ようやく「私はこの仕事が好きだ」ということを実感できた気がします。

挑戦する4年間に

どんなことでも、自分に合っているかどうかはやってみないとわかりません。新入生の皆さんも、大学生として過ごす貴重な4年間を、いろいろなことに挑戦してみる時間にして欲しいと思います。どんな経験だって、無駄なことはありません。無駄かどうかは、未来の自分が決めることだと思います。楽しいことも辛いことも含めて、充実した4年間を過ごしてください。

未知の国へ



教育学部 学校教育教員養成課程 身体・表現コース 4 回生
(大阪府立高槻北高校出身)

松村 智子

from Romania

「asta este」にハマる

私は、2008年8月から2009年3月まで、本学の交換留学生として、ルーマニアという国へ行っていました。ルーマニアというのはヨーロッパの東側にある国ですが、ルーマニアがどこにあるのか、どんな国かがすぐにわかる日本人というのは少ないのではないのでしょうか。私も未知な部分が多いまま出発しました。



友人家族と

出発まで独学でルーマニア語を勉強しようとしていましたが、ルーマニアに到着した時は本当に挨拶程度しかできませんでした。もちろん空港に着いても、寮に着いても戸惑うことばかりで、何とか寮の自分の部屋に落ち着くことが

できた時は、心の底からほっとしました。ルーマニア人はラテン系の民族のためか明るく大らかで、反面とても適当でルーズ、という気質を持っているとよく言われます。そのため、日本では考えられないトラブルも日常茶飯事で、寮のお湯が一ヶ月も止まったり、いきなり部屋を出て行けと言われてたり、いろいろなことが起こりました。物がスムーズに運ばないことが当たり前で、そんな時決まって言われるのが「asta este」という言葉でした。これは、ルーマニア語で「そんなもんさ」というような意味で、何が起きてもみんな「asta este」で片付けられてしまいます。「郷に入れば郷に従え」というのが、これほど難しいことだとは思っていませんでした。

足りないものを数えない

それでも、そんな生活にも少しずつ馴染むことができ、言葉も上達し始めました。現地では、ルーマニア語を学習するための授業を英語で受け、ルーマニア人と生活していたので、言葉を上達させるにはとても良い環境だったと思います。言葉を覚えると、ルーマイトや周りの友達もとても喜んでくれて、どんどん話が弾むようになりました。たくさんさんの会話を通してルーマニアやルーマニア人のことを知り、自分も日本について話す。そんな経験を通して、ルーマニアのことはもちろん、日本のことも改めて考え知ることができたのではないかと思います。

最初に述べたように、日本とルーマニアではいろいろなことが違って、不便に感じることもたくさんあります。でもそればかり見て、不満を数え上げていてはその国の本当の姿は見えないし、人と仲良くなることもできません。違いを受け入れ、上手にいかないことも楽しんでしまえるような余裕と強さを持つこと、それが留学を楽しくするコツだと思いました。

留学生レポート

日本とトルクメニスタン



日本語日本文化研修留学生
(アザディ・トルクメン国立世界言語大学)
アリシェール・エゲンベルディエフ

from Turkmenistan

■日本に来て感じたこと

今年の10月から、私は日本語・日本文化研修留学生として、奈良教育大学で勉強しています。私の母国・トルクメニスタンは、日本ではあまり知られていません。国土は日本の約1.3倍、周囲をカスピ海とイラン、アフガニスタン、カザフスタン、ウズベキスタンに囲まれています。国土の約9割が砂漠で、人口約600万人のうち85%近くがトルクメン人で、平和的なスンニ派のイスラム教徒です。公用語はトルクメン語で、ロシア語も広く話されています。少数ですが、私のように日本へも留学生が来ています。

ニスタンの全ての大学には、次のようなルールがあります。まず大学の制服を着なければなりません。そして、民族の帽子をかぶらないといけないし、大学生時代は車を運転できず、タバコも吸えません。また寮について言えば、国内の全ての大学寮では夜9時が門限です。9時にチェックがあつて、その後は外出できません。しかし、私はそれを悪いと思いません。なぜなら、それらは私たちの民族の伝統的な習慣で安全のためでもあるからです。でも、日本に来たらこういうルールが全くないので、最初は戸惑いました。例えば初めは朝帽子をかぶって行こうとしたら、どんな服を着れば良いのか、選ぶのに時間がかかりました。でも今は慣れてきて、ファッションにも少しだけ興味が出てきました。



外国人留学生実地見学旅行にて



©日本女子プロ野球機構



まだ始まったばかりで、はっきりとは言えないのですが、今までの「野球」は、監督に認めてもらっ

て、研究していきいます。教えるよりは、選手と一緒にになって教えてくれたり、熱い人のほうが選手のやる気を出すと考えています。

大学では何を研究していましたか

硬式野球部に籍をおいていたので、授業後に練習、土日は女子野球のクラブチームに参加する毎日でした。本当に野球ばかりやってたなと思います。大学の練習は体力、筋力、スピードも格が違うので、正直きつかったです。でもチームの雰囲気は和気あいあい、チームメイトとも仲が良く、練習後はみんなで食事にいったりと、とても充実した大学生活でした。

みてどんな大学生活でしたか

キラリ☆奈教生

日本女子プロ野球機構(女子プロ野球リーグ)
兵庫スイングスマイリーズ 入団

キャンパスより 女子プロ野球選手誕生へ!!

野々村聡子

教育学部 学校教育教員養成課程 身体・表現コース 4回生
広島県立福山誠之館高校出身



この春、日本にまたひとつプロスポーツリーグが誕生する。それが「女子プロ野球リーグ」である。全国から約130人もの受験者を集め実施されたトライアウト（入団テスト）で本学硬式野球部野々村聡子さん（教育学部学校教育教員養成課程保健体育専修4回生）が合格した。

女子野球の未来を背負いながら厳しくも華々しいプロ生活を始める野々村さんに話を聞いた。

（企画・広報室）

トライアウト合格後から生活は変わりましたか

イベントなどに参加しているのですが、サインなどを求められるとだんだんとプロ野球選手になったんだなと実感がわいてきましたね。

野球を始めたのはいつからですか

正式にチームに入って始めたのは大学生になってからです。でも野球への興味は、小学校3年生くらいからありました。父や友人とよくキャッチボールをして遊んでいましたし。やっぱり地元『広島カープ』の影響が強かったんだと思います（笑）

奈良教育大学に入学したのはどういった経緯で

野球がしくてプレーできるところを探していると、関西に女子野球のクラブチームがあるのを見つけたんです。でも、当時はもちろん女子プロ野球なんて話はなかったんで「大学はいきいよ。野球ばかりやってたらいけんよ」と家族には言われて「野球をするだけではこちらに来られなかったんです。

もともと体を動かすことが好きで、将来は体を動かせる仕事、「体育の先生になりたいな」とも考えていたので、それだったら奈良教育大学にいくこうと思いい入学しました。だから、卒業後は漠然と地元に戻って先生になろうと考えていました。

卒業まであとわずかですが、4年間を振り返って

で試合にでて評価されていたのですが、これから観客のみなさんが評価することになるという重みがあると思います。

後輩たちに向け夢をかなえるためのアドバイスを
お願いします

自分は、プロ野球選手という夢を叶えましたが、どんな夢でも努力することは一緒だと思います。教職に就きたい人は、それに向かって勉強をがんばって教職に就いているし、自分は野球をしたいから一生懸命練習をしてきたので。

好きなことを一生懸命やれば、必ず何かが残ると思いますので頑張ってください！

これからの目標は

女子プロ野球ができたのを認知してもらい、いつか全国に広まっていくような活動やプレーをしていきたい。それに、これから子どもたちがめざしたいと思うリーグにしていきたい。

夢は、ジャパンの一員としてワールドカップに出場することです！

◆インタビュー後記

早くも各メディアの取材を受けたり、市民イベントに参加したりとハードなスケジュールをこなす。しかし、疲れた表情も見せず「女子プロ野球を認知してもらって、子どもたちにめざしてもらえるようにプレーをしたい」と何度も口にしてた。さわやかな笑顔が印象的な彼女だが、トライアウトには「受かる受からないじゃなく、受かるためにいった」という言葉に芯の強さを感じた。

野々村さんはこの春から始まるリーグ戦で、兵庫県を本拠地とする「兵庫スイングスマイリーズ」の一員としてレギュラー入りをめざす。

試合日程など女子プロ野球リーグの詳細は、「日本女子プロ野球機構」Webサイト。
http://www.girls-probaseball.jp/

楽器ふれあいコンサート



教育学部 学校教育教員養成課程
身体・表現コース 2回生
吉岡 佐歩
（奈良県立郡山高校出身）



私たちは吹奏楽に使う楽器を使い、幼稚園や小学校、お祭りなどに行って、楽器ふれあいコンサートを行っています。吹奏楽だけでなく、金管・木管楽器だけで編成されたアンサンブルなど、ご依頼に合わせて演奏させていただいています。

今年度は夏祭り、幼稚園、公民館で行いました。

ここまでだと普通の演奏会と同じなのですが、私たちは演奏後皆さんに、楽器に触れてもらう時間を設けています。きれいに音を鳴らすことは難しいのですが、私たちが吹いている時に指を変えて音がかわるのを楽しんでもらいます。また、勢い良く息を吹き込むと音が鳴ったりするので、その時に子どもたちのうれしそうなる顔を見ると、私たちが楽しくなります。

幼い頃から楽器に触れる機会を作って、楽器について少しでも知ってもらおう！そこから少しでも音楽の楽しさを知ってもらいたい!!と考えて活動しています。これからも活動の機会を増やし、多くの笑顔に出会えればと思います。

活躍する 奈良教育大生

～文化系～

・第56回日本学書展 文部科学大臣賞
豊國 恵子（教育学部4回生）

・第56回日本学書展 奈良県議会議長賞
小口 真季（教育学部3回生）

・第24回東書教育賞 A部門 最優秀賞
福本 義久（大学院2回生）

・第2回エレナ・リヒテル国際コンクール
塩地加奈子（大学院2回生） 第3位

・第10回大阪国際音楽コンクール
峯本 大地（大学院2回生） アブニール賞

・奈良県美術展覧会第六十回記念展
榊原 慧太（教育学部4回生） 知事賞

～体育会系～

◆女子弓道部

・大学生・一般懇射会 女子団体1位
馬場 翔子（教育学部1回生）
田中 美奈（教育学部2回生）
上原 怜子（教育学部3回生）

・平成21年度奈良県大学選手権大会
池田 麻由（教育学部1回生） 女子個人戦優勝

（団体）

・平成21年度関西学生弓道連盟リーグ戦
女子の部 6部リーグ優勝

◆男子ハンドボール部

・関西学生ハンドボール秋季リーグ戦
5部優勝



男子ハンドボール部



女子弓道部



峯本 大地



塩地 加奈子



福本 義久



小口 真季



豊國 恵子



池田 麻由



上原 怜子



田中 美奈



馬場 翔子



榊原 慧太



最終回 『大学の仲間たち』 〈拡大号〉

自然環境教育センター長
前田喜四雄

1995 年春号から連載されてきた『大学の仲間たち』。執筆者である、本学自然環境教育センター長・前田喜四雄教授がこの春で定年退職されることから、今号で最終回となりました。
そこで今回は、前田センター長に『大学の仲間たち』への思いや、自然への思い、学生たちへの思いを伺いました。

広報誌に寄稿を始めた
きっかけをお教えください。

かつて本学に、ほぼ月刊で発行していた『学報』という冊子があり、表紙で植物学専攻の先生が、大学構内の植物を紹介されていました。この先生が退官されたあと、1995年4・5月合併号から私がこれを引き継いで、大学内の動物を紹介するようになったものです。学報には、大学構内で見られる鳥類を15回紹介しました。ところが、鳥の写真の持ち手が少なくなり、後半は3回チョウを紹介しました。従って、『大学の仲間たち』はこれを引き継ぐ形で、主にチョウを紹介しているわけです。

大学や奈良の自然環境における
魅力は何ですか。

最初の頃、身近に見かける生き物ということで、児童や園児たちに人気のトカゲを紹介しようとした。ところが、その写真が大写し過ぎたのか、編集担当者から「もっとかわいいのがない」と言われてしまいました。(笑)そこで、その後は「身近な」ほかに、「かわいい」と「親しみを持ちやすい」「写真が準備できる」という観点から、紹介する動物を選びました。

最初は写真にせよ生き物情報にせよ、日頃の
蓄積があったので、まったく苦労はなかったで

す。ただし、最近では大学での生活にゆとりがなくなり、ゆつくりと大学内で生き物を観察する時間がとれなくなりました。ましてや動物はじっとしていないため、写真を撮るにはチャンスが非常に少なくなり、いきおい「身近」とか「親しみやすい」とかは考慮できなくなって、これまでに写真の持ち手がある生き物の紹介になってしまいました。

実際にさまざまな「仲間たち」のついで、自身で一番印象に残っている「仲間」は何ですか。

原稿が没になったトカゲですかね。(笑)そのほかに、大学の仲間としてヘビの仲間が数種いるのですが、トカゲが敬遠されるならば……これらも遠慮してしまいました。もっとも、チョウ以外にも昆虫類は、本学構内で無限に近い種を見かけます。これらも紹介したかったですね。

本学や奈良の自然環境における
魅力は何ですか。

本学構内は、本当に良い自然環境が残っていました。かつては、構内に天然もののスズムシが鳴いていたわけですから。それが大学構内の整備に伴って、芝生に樹木が疎生するヨーロッパ的な環境(実は雨が少なく、これしかできないという条件から成り立っている)に変わってしまい、絶滅してしまいました。もっとも、マツムシは分布が狭められ極限されてしまいましたが、それでもまだ細々と鳴いています。と

いうことで、本学構内にかつてあった、良い自然環境がなくなってきたのは寂しい限りです。

しかし、このような実態を嘆く声に配慮し、ごく最近になって、「教育研究上の保存緑地」として、一見草ぼうぼうで見栄えが悪く見えて自然環境を残すようにはなってきました。このような大学構内の自然環境ですが、本学の北端にある側溝では、まだ細々とシジミも世代交代をしていますので、他大学の構内に比べれば、まだまだ自然環境に恵まれていると言えるでしょう。

昆虫などを通じて自然に触れ、
これを意識することの重要性は何ですか。

実際の自然に触れることです。仮想自然以外の何ものでもない、パソコンやテレビなどからの知識が増えれば良い、という現在の流れは非常に危険なものだと思っています。「これは便利だ、疑問の答えを正確に手取り早く得られる」などという考えは、いわば本当の環境教育に逆行するものであると思っています。

最後に、学生へのメッセージをお願いします。
(特に教員を目指す学生に対して)

小学校学習指導要領の「生活」の目標に、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心を



モチ……とあり、また「理科」の目標は「自然に親しみ……」という書き出しになっています。このことは、生活や理科の授業を展開する教師は、当然身近な自然に関心を持っていることが前提になっています。
万葉集の歌の中に、ウグイスよりもたくさん取り上げられている鳥にホトトギスがあります。かつてはウグイスよりも身近な関心を持たれる鳥だったようです。シーズンには、本学内でも奈良公園で鳴いているこの鳥の鳴き声を聞くことができます。しかし、ほとんどの学生はホトトギスの鳴き声を認識していません。せめて本学に在学している間に、この鳥の鳴き声を聞いて欲しいと思います。面白いことに「トッキョッキョカキョク」(特許許可局)と鳴くのです。

創刊からの「仲間たち」1995～2009

1995	〈春〉 ヤモリ (幼体)	1999	〈春〉 ツバメシジミ	2003	〈秋〉 アサマイチモンジ	2007	〈夏〉 クロコノマチョウ
	〈秋〉 フクロウ		〈秋〉 キタテハ	2004	〈春〉 モンキアゲハ		〈秋〉 チョウトンボ
1996	〈春〉 ベニシジミ	2000	〈春〉 ツマグロヒョウモン	2005	〈秋〉 ナガサキアゲハ	2008	〈春〉 アカタテハ
	〈秋〉 スジグロ シロチョウ		〈秋〉 キアゲハ		〈合併〉 ヒカゲチョウ (ナミヒカゲ)		〈夏〉 コムスジ
1997	〈春〉 ウグイス	2001	〈春〉 ツマキチョウ	2006	〈春〉 ウスバツバメガ (ウスバツバメ)	2009	〈秋〉 ヤマトシジミ
	〈秋〉 タヌキ	2002	〈春〉 サトキマダラ ヒカゲ		〈夏〉 メスグロ ヒョウモン		〈春〉 アオスジアゲハ
1998	〈春〉 ジャコウアゲハ	2003	〈秋〉 イチモンジセセリ		〈秋〉 オオチャバネ セセリ		〈夏〉 クロアゲハ
	〈秋〉 アゲハチョウ		〈春〉 イノシシ	2007	〈春〉 コチャバネセセリ		〈秋〉 ヒメウラナミ ジャノメ

新連載

奈良に息づく

仲間たち

自然環境教育センター 准教授

鳥居 春己



シカ

シカは、ロシア沿海州から中国、ベトナム、台湾などに自然分布し、スコットランドなど世界各地で、逃げ出した飼育個体が野生化している。日本全土に棲息し、北に棲息するほど体が大きい。奈良公園のシカは中型で、雌は40kg程度だが、雄は時に90kgを超えることもある。奈良公園のシカは天然記念物として保護され、現在では千二百頭を数えている。しかし、シバ地や森林など彼らの棲息環境を眺めても、食料が十分に確保されているとは思えない。そのためか、初産年齢が周辺地域と比べ一年遅れている。出産間隔も長く、生涯出産数も少ないらしい。また、保護のため長生きでもある。これらの状況はまさに日本人と同じで、高齢社会だ。この先、個体数は減少すると思われるのだが、どこまで減るかは予想がつかない。しかし、日本人と違うのは、個体数が減れば、一頭当たりの食料は増えるから、個体数は回復してくるはずである。

自然環境教育センター <http://www.nara-edu.ac.jp/ECNE/>



奈良教育大学 広報誌

第33号 平成22年2月26日 編集/広報・情報公開委員会 発行/国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL. 0742-27-9104 FAX. 0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp/>

企画・広報室までご意見・ご感想をお寄せ下さい。
お寄せいただいた方の中から抽選で「なっきょんストラップ」を差し上げます。
【奈良教育大学 企画・広報室】kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp



なっきょん's CLUB

スタッフ募集のお知らせ

広報誌づくりなど、広報活動をしてくれる学生広報スタッフを募集しています。
興味のある方は企画・広報室まで、お気軽にお問い合わせ下さい。